

進路だより

スキルアップ

第8号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和7年11月28日発行

〈産業科 現場実習〉

11月1週から2週にかけて産業科1年生は4日間、2年生は2週間、実習を行いました。将来の生活に向けて、日々の学習活動の成果を発揮すべく、実習先での作業に取り組みました。実習後の振り返りを通して、それぞれの課題を確認し、成長に繋げていってほしいと思います。



[おでんの仕込み]



[肌着畳み]



[商品の仕分け]



[カードの梱包]



[水産加工]



[玄米袋畳み、玄米出し]



[スープの具並べ]



[銅線剥き]

実習振り返り

私は実習で、玄米袋の整理整頓や玄米の紐ほどきを行いました。やりがいを感じたのは、私が整理整頓した玄米袋がどんどん積み重なっていく様子を見たときです。今後頑張りたいことは、学校では専門教科の学習でスピードを落とさず正確に作業することです。家では健康な体を作るために早寝早起きを意識して生活していきます。

私は物流センターで実習をしました。商品の仕分け作業では、2ℓペットボトルが6本入った段ボールを、決められた個数台車に運びました。自分の作業スピードが遅く、仕事を教えてくださる方ばかりに仕事をさせてしまいました。また、1日を通して同じ作業を繰り返す中で、午後になると作業スピードが落ちてくることが分かり、次の日は早く仕事しようと意識したら数を間違えてしまいました。早く正確に作業するために、専門教科で時間いっぱい仕事に向き合うことで、体力を付けて集中して作業する力を身に付けます。また、家庭でも挨拶と皿洗いを毎日します。

僕の作業内容は、スープの具並べ作業と洗い物でした。やりがいを感じたことは、社員の方の作業を見て「正確に自分で作業できたこと」「指示通りに早く作業を終わらせることができたこと」に達成感を感じました。洗い物の作業では、洗い残しが無いようにきれいに隅々まで洗い物ができました。今後頑張りたい事は、指示を聞いて、内容が分からなかったら、相談したいと思います。

私は水産加工工場で実習をしました。初めての学校外での実習でしたが、4日間を通して手を止めずに作業することができました。実習先の現場に合わせた挨拶や返事については、初日は大きな声ではっきりと伝えることはできませんでしたが、2日目からは大きな声で伝えることができ、4日目にはコミュニケーションが取れるようになってきました。学校で毎日「挨拶や返事を大きな声です」という目標に向かって努力し、毎日振り返りをした成果が出たことを感じました。

私は実習で銅線の皮むき作業をしました。2日間仕事を休み、迷惑をかけてしまいました。実習を通して、毎日働くことや作業を続けることの大変さを学びました。家庭では起きる時間を調整し、学校で週3回以上学習し続けることを頑張ります。

巡回時に生徒の様子を実習先に伺うと、「一生懸命働いているかどうか」「挨拶や相談ができるかどうか」についての返答が最初に返ってきます。仕事に向かう姿勢・積極性や挨拶、相談といった基本が大事だと改めて感じました。生徒の振り返りを今後の学校生活や家庭生活に生かすため、引き続きご協力をよろしくお願ひします。

私は食品工場で実習をしました。重い物を持ったり運んだりする作業は、自分の得意な面をいかせる作業だと思いました。しかし、立ちっぱなしでひたすら野菜を選別する作業では、集中力が途切れることがありました。休憩終わりに水分補給をすることで自分自身にスイッチを入れ、後半の作業に取り組みました。今後も、得意なことを増やしながら、苦手なことへの対処法も身に付け、できることを増やしていきたいです。



肉をトレーに入れ15kgに計量し、運んで重ねる作業は体力も使う作業だと思いますが、作業内容を理解し、黙々と取り組んでいました。実習から帰ってきた後の面談では、卒業後の生活についてのイメージも話してくれました。仕事だけではなく生活についても考える実習になったように感じました。

私はA型事業所でクリーニングの仕事を経験しました。実習をとおして、おしごりをたたむときに、焦らず正確に丁寧に、粘り強く作業することが大切だと分かりました。実習で学んだことを今後にいかし、苦手な作業でも、最後まで諦めずにやり抜ける技術と精神で、日々積み重ねていこうと感じました。家庭生活においても洗濯の手伝いをして、衣服のたたみ方を練習していきたいと思いました。



立ち作業が続き大変な様子も見られましたが、自分なりに仕事を継続しようとする姿勢を感じられました。実習後の振り返りでは、自分でうまくできなかった部分を冷静に受け止め、今後の授業等でどんなことを意識して活動していくか改めて考えることができ、今後につながる実習となったと感じます。